

県民・若者との意見交換会について

1 第1回意見交換会

開催日時：令和4年5月26日（木）15：00～16：30

参加者：農林水産業の経営者等 14名

テーマ：「これからの農林水産業について」

主な意見：

- ・価格決定権を持っていない農家にとって、デジタルシステムの導入は費用対効果の面で恩恵を受けにくい。稼げる農業を目指す中で、今一番足りていないことは、食の価値を高めること。
- ・大型船や遠洋系の船舶ではデジタル化が相当進んでいるので、大型船ではない沿岸漁業の船にもデジタル技術を導入していくことが必要。
- ・林業ではシステム化が進むと会話が生まれなくなり、チームワークに影響を与えることもあるので、デジタルとアナログの組み合わせが大事。
- ・エネルギー・熱源の確保のため、バイオマスプラントの導入をもっと普及させるべき。



2 第2回意見交換会

開催日時：令和4年6月2日（木）14：30～16：00

参加者：商工・観光関係の経営者等 11名

テーマ：「コロナ前と比較した商工・観光業を取り巻く社会環境の変化について」

主な意見：

- ・オンラインを使うことで、地域外の様々な人材とのつながりが生まれた。
- ・地域で新しいチャレンジをする人材を呼び込むためのツールとして、「地域おこし協力隊」を活用すると良いのではないかな。
- ・インターネットの普及により情報が手軽に手に入る時代の中、競争力が問われている。企業がどんどん代謝して競争力を上げて、成長していくことが問題解決の一番の方法。
- ・コロナ前と比べて、同じお金をかけるのであれば、環境を買う、空間を買うという消費傾向がより強く見られるようになった。

3 第3回意見交換会

開催日時：令和4年6月5日（日）9：00～12：00

参加者：県内の大学生及び若手社会人 15名

テーマ：「若者が考える「実現したい未来」について」

主な意見：

- ・若者世代においては、デジタルを利用して世界や他県に目を向けることで、宮崎の良さに改めて気づき、県内定住につながる。
- ・小学生においては、課外活動などを通じて、早い段階から地元文化に触れる機会をたくさんつくるのが大切。
- ・高齢者のデジタル格差の解消に向けて、デジタル機器の使い方だけではなく、デジタル化の目的自体を伝え、便利さを実感してもらえる場が必要。
- ・山間部に住む高齢者の暮らしを維持するためには、自動運転技術やドローンによる宅配、ネット通販など先端技術の導入が必要。
- ・自然豊かな場所と賑やかな場所とを地域交通サービスでつなぎ両立を図ることで、県民の「幸せ」や「楽しみ」につながっていく。
- ・働きがいはお金だけではなく、自由度の高い働き方こそが大事。積極的に副業を認め、それぞれの能力や隙間時間を生かすことが社会全体の効率化につながる。
- ・宮崎が先頭に立って、働く女性のサポートを打ち出すことにより、それが宮崎の魅力の一つにつながる。

